

【様式1(10月29日時点)】 《資料6》
平成27年度 東成区運営方針(素案) 10月29日時点

(区長: 森本 万喜子)

◆計画

区・局の目標(何をめざすのか)
<ul style="list-style-type: none"> ・区民と区役所が手をたずさえ、より区民に身近な基礎自治体をめざす ・区民ひとりひとりが未来に希望を持てるまちをめざす ・区民がまちづくりや区政に参画し、生きがいを感じ、安全・安心でいきいきとしたまちをめざす

区・局の使命(どのような役割を担うのか)
<ul style="list-style-type: none"> ・区民ニーズや地域活動情報を多面的に把握し、区役所がコーディネート機能を発揮することで、区民がまちづくりや区政に参画できるようにする ・区民の日常生活の安全・安心を担う総合拠点として、区民が利用しやすい便利で親切な区役所とする ・東成区に愛着を感じ、区民とともに目標とするまちづくりを進める職員を育成する

平成27年度 区・局運営の基本的な考え方(区・局長の方針)
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の実態に合った取り組みにより地域活性を促進させるため、地域活動協議会への支援や区民と各種団体との連携強化、地域資源の活用による多くの区民の参加によるまちづくりの活性化に取り組みます。 ・地域特性を踏まえた防災訓練に取り組むため、地区防災計画の策定を進めるとともに、学校との連携による子どもの防犯意識の向上に取り組みます。 ・高齢者や障がい者が安心して暮らせるよう地域社会全体で支援する仕組みづくりと、区民の健康に対する意識向上に向け、正しい知識の啓発など地域と連携した取り組みを進めます。

重点的に取り組む主な経営課題(様式2)

経営課題の概要	主な戦略
【経営課題1】安全・安心(防災・防犯) ・関係機関などと連携し、災害や事故など区民の生活に影響を与える様々なリスクに対処する仕組みをつくり、総合的な危機管理機能を拡充します。	【防災対策】 地区防災計画の策定と実践的な避難所運営訓練に取り組む。また、学校園が防災教育を推進できるよう支援する。 【防犯対策】 子どもの防犯意識向上と関係機関との情報の共有を進め、犯罪抑止のための効率的な取り組みを進める。
主な具体的取組	
【防災対策】 より地域実情に合った地区防災計画の策定を支援するとともに、各地域で中長期や男女共同、高齢者・障がい者などを意識した収容避難所運営訓練に取り組む。また、学校園が取り組む防災教育を支援するための取り組みを進める。 【防犯対策】 防犯教室の開催などにより、子どもに対する防犯意識の向上を進めるとともに、警察等の関係機関との連携と情報共有を一層強化し、「見せる警戒」などにより効果的な巡回・啓発に取り組む。	

経営課題の概要	主な戦略
【経営課題2】子育て支援の充実 ・地域社会全体で子育て家庭を支援し、子育て情報の発信や相談機能を充実します。また、仕事と子育ての両立や子どもたちの良好な教育環境が整備され、子どもたちが健やかに成長できるよう子育て支援を充実します。	【子育て支援】 相談・支援体制や情報提供の充実による子育て不安の軽減や、子育て家庭の要望・地域実情に応じた保育の提供などにより、仕事と子育ての両立支援を進める。
主な具体的取組	
【子育て支援】 子育て家庭と地域のつながりづくりのため、地域子育て支援機関等との連携強化を図り、子育てボランティアの育成やfacebookの活用等による情報発信を強化する。「ひがしなりっすくすく・つながるクラブ」や子育て応援隊事業の充実により、子育て活動への参加者増を促すとともに、子育てと仕事が両立できる環境整備のため、保育サービスにおける受入れ児童の増加に取り組む。	

経営課題の概要	主な戦略
【経営課題3】まちの魅力向上 ・区民やNPO、企業などの様々な活動主体が参加・参画して、地域課題の解決に取り組み、また地域実態にあった活動を立ち上げ、まちづくりが活性化している。	【多様な協働による地域活動の活性化】 ふれ愛パンジーの活用により、区民の公益活動や区民や地域団体等のネットワーク形成を支援する。
主な具体的取組	
【多様な協働による地域活動の活性化】 区民や各種団体等のネットワークづくりを推進し、地域の活性化に繋げる。また、地域課題に対する提案型事業を公募し、協働して地域課題の解決を図る。ふれ愛パンジーで、市民活動団体等の事業に助成を行い、まちづくり活動の活性化に繋げる。「モノづくり」を通じた次世代担い手育成支援事業や「地域資源」を活用した「にぎわい」づくりを推進する。	

経営課題の概要	主な戦略
【経営課題4】地域福祉と健康づくりの充実・推進 ・地域福祉における支え合いが充実するとともに、区民一人ひとりが、自主的に健康づくりや感染症予防に取り組む、健康寿命が延伸している。	【要支援者セーフティネットの構築】 地域福祉の充実のため、新たな手法の活用と認知症徘徊高齢者の早期発見等の地域課題解決に向け、実務者会議等で検討を進める。
主な具体的取組	
【地域における支え合いの充実】 おまもりネット事業の更なる周知や登録を促すとともに、認知症による徘徊高齢者対策など、地域福祉の充実のため、有償ボランティア制度の活用等により、区民の多様な要望への対応と担い手の発掘に取り組む。	

経営課題の概要	主な戦略
【経営課題5】区役所力 ・区民の意見や要望が区役所に届き、また、区政に関するわかりやすい情報が多くの区民に届けられ、区民の満足度が高い。 ・職員が区に愛着を持ち、区民サービスの向上が図られている。	【情報発信機能の強化】 魅力ある広報紙等の情報発信に取り組む。
主な具体的取組	
【広報事業の充実】 広報紙に多岐にわたる記事を盛り込むとともに、区民記者を募集するなど読みやすくわかりやすい紙面作りに取り組むとともに複数媒体による情報発信に取り組む。	

「平成27年度 市政改革の基本方針（素案）」に基づく取組等（様式3）	
主な取組項目	取組内容
国民健康保険料未収金圧縮の取組み強化	国民健康保険料収入の確保に向けて、未収金の発生を抑えるとともに、早期の納付相談・納付指導を強め、未収金の回収・発生縮減に努める。
主な取組項目	取組内容
ホームページバナー、広報紙、施設等への広告掲載	広報紙、ホームページバナー、庁舎内パンフレットラック、広報板の広告媒体について、広告代理店を通した年間契約を締結する。広告付き周辺案内地図、広告入りTVモニター・壁面パネルの広告媒体については、引き続き広告契約を継続する。
主な取組項目	取組内容
附設会館(区民センター)におけるサービス向上	アンケート調査とともに、年代別・性別などを分類化した「見える化」を視野に入れたニーズ調査を実施し、利用者のサービス向上に取り組みます。

◆自己評価

1年間の取組成果と今後取り組みたいこと

解決すべき課題と今後の改善方向

【様式2(10月29日時点)】 《資料6》
重点的に取り組む主な経営課題

経営課題1

【安全・安心(防災・防犯)】

めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年を念頭に設定＞

・地域活動協議会、警察署、消防署、企業・事業所、医療機関、学校などと連携し、災害や事故など区民の生活に影響を与える様々なリスクに対処する仕組みをつくり、総合的な危機管理機能を拡充します。

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

＜防災＞

・地区防災計画の策定

① 策定作業中	1地域/11地域
② 策定完了	0地域/11地域

・地域防災訓練の内容

① 初期消火・救助訓練	11地域/11地域
② 避難訓練	11地域/11地域
③ 収容避難所開設訓練	11地域/11地域
④ 収容避難所運営訓練	0地域/11地域

＜防犯＞

・子ども事案の発生件数

平成25年度	平成26年度
26件	16件

※H26は、1～8月現在暫定値

※安まちメールより集計

・街頭犯罪発生件数

平成25年度	平成26年度
794件	463件

※H26は、1～8月現在暫定値

・女性事案の発生件数

平成25年度	平成26年度
38件	40件

※H26は、1～8月現在暫定値

※子どもは、子ども事案に計上

※安まちメールより集計

計画

要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞

＜防災＞

・地域の初期初動訓練は、それぞれのパートごとの訓練に留まっており、計画的かつ組織的な初期初動の動きとはなっていない。
 ・東成区では、災害時の初期初動訓練（初期消火・救助・収容避難所開設訓練）を中心に実施している。しかしながら、災害時に住居を失った場合は、中長期（1～3か月）の収容避難所生活が強いられるため、地域で自主的に避難所運営ができるよう取り決めなどを策定し、地域住民自身が理解しておく必要がある。

＜防犯＞

・子ども事案、街頭犯罪の発生件数は、若干減少傾向にあるが、予断を許さない状況である。
 ・区役所職員(あんパト)による巡回や街頭犯罪防止チーム(市民局委託業者)等の巡回に加え、更に警察との連携を強化し、犯罪を犯す隙を与えない警戒が必要である。

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

＜防災＞

・各種訓練を計画的・組織的に遂行には地区防災計画を策定し、各過程を地域住民が認識し、行動に反映させていく必要がある。
 ・中長期（1～3か月）の避難生活を想定した収容避難所運営訓練が必要である。

＜防犯＞

・区役所職員(あんパト)や街頭犯罪防止チーム(市民局委託業者)による青色防犯パトロールカーや自転車による巡回をはじめ、警察や地域との連携による「見せる警戒」に取り組み、犯罪の抑止活動を強化する必要がある。
 ・学校の土曜日授業などを活用した防犯教室を行い、子どもが犯罪に巻き込まれないよう啓発するとともに、犯罪に巻き込まれそうになった場合の緊急回避行動の習得に取り組む必要がある。
 ・ひったくりなどの街頭犯罪に対し、警察や地域との協働で、ひったくり防止カバー取り付けキャンペーン等を行い、区民が被害者とならない啓発に取り組む必要がある。

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

自己評価

めざす成果及び戦略 1-1 【防災対策】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定>	戦略<中期的な取組の方向性>
	<ul style="list-style-type: none"> 地域実態を踏まえた地区防災計画が策定されている。 中長期を意識した収容避難所運営訓練が実施されている。 学校園と連携した防災に関する取組が実施されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種訓練が組織的に対応できる地区防災計画となるように取り組む。 地区防災計画や中長期を意識した避難所運営訓練で、男女共同参画の推進や高齢者や障がい者などの多様な主体の参加・参画を促進し、地域主導の収容避難所運営に取り組む。 教育委員会の方針に基づき、学校園が防災教育を推進できるように区役所も学校園を支援する。
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標>	
	<ul style="list-style-type: none"> 地区防災計画の策定:平成28年度 11地域/11地域 中長期を意識した収容避難所運営訓練の実施:平成29年度 11地域/11地域 	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体	
			今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
		A:順調 B:順調でない	
	戦略の進捗状況	a:順調 b:順調でない	

具体的取組 1-1-1 【防災計画・訓練】

計画	取組内容	業績目標 (中間アウトカム)
	<ul style="list-style-type: none"> 地域の地区防災計画の策定を支援する。 各地域で中長期を意識した収容避難所運営訓練を実施するとともに、学校園が行う防災教育を支援するための取り組みを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 区内5地域で、地区防災計画を策定する。 区内5地域で、収容避難所運営訓練の実施。 【撤退基準】 <ul style="list-style-type: none"> 上記計画策定が3地域以下の場合は事業を再構築する。 上記訓練実施が3地域以下の場合は事業を再構築する。
		前年度までの実績
		<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度より地区防災計画の策定開始。 収容避難所運営訓練は平成27年度新規事業。

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)

めざす成果及び戦略 1-2 【防犯対策】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定>	戦略<中期的な取組の方向性>
	<ul style="list-style-type: none"> すべての小学校で土曜日授業等を活用した防犯教室を実施し、子どもの防犯力を高める。 区役所と警察、地域などが連携した巡回や啓発を行い、犯罪が起りにくい地域にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 警察と速やかな情報共有を図り、犯罪事案を地図に反映し、区役所職員(あんパト)が、いつでも瞬時に視覚的に情報共有できるようにする。 犯罪情報の分析を行い、犯罪抑止のための効率的な「見せる警戒」に取り組む。 巡回や犯罪情報の視覚化や分析から、区内の特性に基づく実践的な巡回・啓発を行えるように取り組む。
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標>	
	・防犯対策が進んでいると感じる区民の割合:50%(区民モニター)	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体	
			今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
		A:順調 B:順調でない	
	戦略の進捗状況	a:順調 b:順調でない	

具体的取組 1-2-1 【防犯意識の向上と関係機関との連携強化】

計画	取組内容	業績目標 (中間アウトカム)
	<ul style="list-style-type: none"> 子ども等に対する防犯意識の向上に向けて取り組む。 関係機関と連携し、情報共有を進めて効果的な見せる警戒を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 区内小学校で実践的な子ども防犯教室の実施。(11回)【撤退基準】 上記目標の11回開催ができなかった場合は事業を再構築する。 街頭犯罪の発生件数が増加した場合は事業を再構築する。
		前年度までの実績
		<ul style="list-style-type: none"> 区内小学校で実践的な子ども防犯教室の実施。(8回) 街頭犯罪の発生件数23%増

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)

経営課題2

【子育て支援の充実】

計 画	めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年間を念頭に設定＞
	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援情報が行き届いており、かつ子育てに悩んだ場合に身近に相談できる場所があるなど、安心して子育てができる。 ・行政、関係機関、地域等のネットワークにより、地域社会全体で子どもや子育てを支援する取り組みが充実し、子育て家庭の満足度が高い。 ・仕事と子育てが両立できる環境が整備され、ライフスタイルに応じて安心して子育てができる。 ・学校、家庭、地域が協力し合い、子どもたちにとって良好な教育環境が整うことで、子どもたちは自己肯定感を持ち、将来を生き抜く力を身につけ、それぞれの可能性を伸ばせるようになっている。
	現状（課題設定の根拠となる現状・データ）
	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てについての区民モニターアンケート(平成25年度) <ul style="list-style-type: none"> ①子育て世帯に対する地域や東成区の取り組みについての満足度:42.3% ②小学校就学前の子育てに関することで、困ったときの相談先の割合(複数回答可)＜上位項目＞ <ul style="list-style-type: none"> ・家族・親戚・知人等:85.9%、幼稚園・保育所(園):39.7%、子育て支援センター・子ども子育てプラザ:20.5%、区役所:19.2%、こども相談センター:10.3%、地域子育てサークル:7.7% ③東成区や各校下で取り組んでいる子育て支援事業に参加したことのある割合:ある:51.3%/ない:48.7%(無回答含む) ・平成26年4月1日現在 保育所待機児童:0人 <p>＜生活習慣＞(平成25年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝食を毎日食べている割合 小学生…大阪市93.4% 全国96.3%、中学生…大阪市88.4% 全国93.4% ・毎日同じくらいの時刻に寝ている割合 小学生…大阪市72.7% 全国78.9%、中学生…大阪市71.2% 全国74.3% <p>＜子どもを取り巻く環境＞(平成25年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の環境が、子どもにとって自然、社会、文化などの体験活動に参加しやすい環境であると思う就学児童の保護者の割合:19.2%
要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞	
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代に対する地域や行政の取り組みへの区民の満足度は増加傾向であるが半数以下と低い。子育て支援関係者・関係団体と一層連携しながら、子育て世代のニーズや地域実情の把握に努め、取り組みを充実していく必要がある。 ・子育て支援機関における相談の割合が低く、また、子育て支援事業への参加も約半数と少ない。相談機会や支援事業の情報が、子育て世代に知られていない。また、知っているも利用されておらず、支援を要する子育て家庭に支援が行き届いていない可能性がある。子育て支援情報の発信と利用しやすい仕組みの充実が必要である。 ・年度当初の保育所待機児童は0人であるが、保留児童や途中入所できていない児童がいる。入所希望者のニーズに対応した保育所(入所枠)の確保が必要である。 <p>・子どもは家庭生活をはじめ、学校、地域など社会における様々な経験や人との交流を通じて成長していくことから、朝食の喫食の有無や睡眠時間などの生活習慣の課題や様々な体験機会の減少などがその要因の1つとして考えられる。</p>	
課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞	
<ul style="list-style-type: none"> ・核家族化や地域コミュニティの希薄化により子育てが孤立化しやすく、子育てに不安感や負担感を感じる子育て家庭も多い。 ・子育て家庭が安心して子育てできるよう、身近な相談・支援体制の充実や様々な機会や多様な媒体を活用した情報提供に努め、地域社会全体で子育て中の保護者を支援する仕組みを充実していく必要がある。 ・仕事と子育ての両立支援が図られるよう、保育所待機児童ゼロの状況を維持していく必要がある。 <p>・健全な生活習慣の形成や多様な体験ができる環境づくりのためには、家庭や学校園、地域が連携して、子どもや学校を支える環境作りが必要である。</p>	

自己 評価	戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

めざす成果及び戦略 2-1 【子育て支援】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定>	戦略<中期的な取組の方向性>
	・身近な地域での相談・支援体制や情報提供の充実により、子育ての不安が軽減され、安心して子育てができる。 ・子育て家庭のニーズや地域の実情に応じた保育を提供することで、仕事と子育ての両立支援が図られている。 アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ・子育てに安心・満足を感じている人の割合:平成27年度までに80%(区民モニター) ・保育所待機児童0人(平成28年4月1日時点)	・子育て支援関係者・関係団体と連携を強化し、子育て支援の取組みと、子育て家庭と地域のつながりづくりを支援する「ひがしなりっ子すくすくつながるクラブ」の一層の充実を図る。 ・安心して子育てできるよう、ライフスタイルに応じて子育てと仕事を両立できる環境を整備するため、保育サービスにおける受入れ児童の増加を図り、待機児童の解消を維持する。

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体	
			今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
		A:順調 B:順調でない	
戦略の進捗状況		a:順調 b:順調でない	

具体的取組 2-1-1 【子育てネットワーク構築支援事業】

計画	取組内容	業績目標 (中間アウトカム)
	・子育て家庭と地域のつながりづくりを支援するため、地域の子育て支援機関等との連携を強化する。 ・子育て支援人材の育成やfacebookの活用等による情報発信を強化し、子育て支援活動への参加者の増加を促す。 ・子育て家庭と地域をつなぐ仕組み「ひがしなりっ子すくすくつながるクラブ」の登録カードの利便性を高め、登録者の増加を促す。 子育て支援イベントの開催:年3回以上 子育て応援隊事業:年11回	・平成27年度末までの登録者数:就学前児童の20%(約800人)以上 【撤退基準】 ・上記目標が10%以下の場合は事業を再構築する。 前年度までの実績 ・「ひがしなりっ子すくすくつながるクラブ」登録者:9月末210名 ・地域子育てサークル合同イベント(7月)参加者数:312名 ・子育て応援隊事業(6月~5回実施) ・子育てフォーラム(11月) facebookの情報提供の充実

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成	
戦略に対する取組の有効性		○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	
	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成		
戦略に対する取組の有効性		○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)

具体的取組 2-1-2 【子育てにかかる情報提供の充実】

計画	取組内容	業績目標 (中間アウトカム)
	<ul style="list-style-type: none"> 子育てを支援する情報が得やすい環境を整備するため、多様な情報媒体を活用した情報提供の充実を行う。 子育てボランティアや子育て中の保護者の参加、協力を得ながら、子育て家庭のニーズに即した情報提供の充実を図る。 子育て応援隊事業参加者で構成する編集会議の開催(2~3回) 乳幼児健診、子育て支援機関等でのアンケート調査の実施	・地域の子育て情報が充実していると感じる人の割合:85% 【撤退基準】 ・上記目標が60%未満の場合は事業を再構築する。
中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成	
自己評価	戦略に対する取組の有効性	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)	

具体的取組 2-1-3 【保育所待機児童の解消】

計画	取組内容	業績目標 (中間アウトカム)
	保育ニーズをふまえ、年間を通じて民間保育所へ働きかけるとともに、地域型保育の実施等により受入れ児童の増加を図る。	・平成28年4月1日時点:待機児童0人 【撤退基準】 ・上記目標が10名を超える場合は取組みを再構築する。
中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成	
自己評価	戦略に対する取組の有効性	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)	

めざす成果及び戦略 2-2 【子どもが育つ環境整備】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定>	戦略<中期的な取組の方向性>
	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの成長のため、地域・保護者・学校が連携して、子どもたち、小中学校を支援する環境が整っている。 各小中学校でより良い教育ができるよう、学校と区役所の協力関係が構築され、連携強化が進んでいる。 アウトカム<めざす状態を数値化した指標> <ul style="list-style-type: none"> 学校関係者が、学校が地域や区役所からの連携や支援を得られていると感じる割合:60%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 地域、学校関係者、PTA等と連携・協力して、学校支援の活動や仕組みの充実、発展を図る。 小中学校における土曜授業等への協力を通じて、学校との連携強化を進める。

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体	
			今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
		A: 順調 B: 順調でない	
戦略の進捗状況	a: 順調 b: 順調でない		

具体的取組 2-2-1 【子どもが育つ良好な環境整備】

計画	取組内容	業績目標 (中間アウトカム)
	<ul style="list-style-type: none"> 小・中学校の校長との意見交換を通じて、学校、家庭、地域が協力し合い、子どもが育つ良好な環境を整える支援に取り組む。 学校長との意見交換回数: 15回 	<ul style="list-style-type: none"> 区長が身近な存在であると感じる学校長の割合: 60%【撤退基準】 上記割合が30%を下回る場合は事業を再構築する。 前年度までの実績 <ul style="list-style-type: none"> 平成27年度新規事業

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)

具体的取組2-2-2

【学校との連携強化】

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	<ul style="list-style-type: none"> 学校との情報共有や意見交換を行うことにより、土曜授業等の実施を支援する。 区職員が協力した土曜授業等の実施回数:11回 	<ul style="list-style-type: none"> 区役所が学校に協力的であると感じる学校長の割合:60%【撤退基準】 上記割合が30%を下回る場合は事業を再構築する。
中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	
自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)

計 画	めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年を念頭に設定＞
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティが一層活性化し、多くの住民が参加・参画して、様々な地域課題を解決し、地域が発展している。 ・区民・市民による多様なまちづくりが活性化し、多くの住民がその活動に参加・参画したり、活動を立ち上げ主体的に取り組んでいる。 ・地域団体のほか、市民、NPO、企業などの様々な活動主体と区役所が互いに協働し、地域課題の解決に取り組んでいる。
	現状（課題設定の根拠となる現状・データ）
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動に取り組んだことのある区民の割合：35.9%（平成25年度区民モニター） ・地域のまちづくりに関する活動が地域団体やNPO、企業など多様な活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合：26.4%（平成25年度区民モニター） ・地域活動を始めたいときにどうすればいいかなど地域活動に参画しやすい環境が整っていると感じている区民の割合：34.2%（平成25年度区民モニター）
	要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞
	<ul style="list-style-type: none"> ・東成区は、町会加入率が高く地域コミュニティの形成度が高く地域活動も活発であるが、活動する方の高齢化・固定化の傾向がみられる。 ・地域コミュニティを活性化させ、複雑多様化する地域課題を解決するには、地域の課題や資源などを最もよく知っている地域団体のほか、市民、NPO、企業などの多様な活動主体と行政とが協働して取り組む必要がある。 ・地域活動に参画しやすい環境が整っていると感じている区民の割合や地域団体の活動内容等を知る機会が増えたと感じている区民の割合が低い。こうした状況が多様な活動主体の協働が進んでいない要因であると考えられる。
	課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティの継続・発展のため、より多くの多様な区民が参加・参画できるよう、一層開かれた組織運営の地域コミュニティづくりを進める必要がある。 ・多様な主体が協働して地域課題に取り組むには、それぞれの活動主体の情報を集め広く発信することによって地域活動に参画しやすい環境整備を強化する必要がある。
自己評価	戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

めざす成果及び戦略 3-1 【区民主体のまちづくりの支援】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定>		戦略<中期的な取組の方向性>		
	・より一層地域コミュニティが活性化し、様々な活動主体が参加 参画し地域課題の解決に取り組んでいる。 アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ・地域運営に様々な活動主体が参加参画し、地域が一体となって運営さ れていると感じている区民の割合:平成29年度までに80%以上		・地域活動協議会に対して、実情を踏まえることのできる財政的 支援を行う。 ・中間支援組織の専門性を活かしたノウハウの提供や、情報交 換会の場の提供を行い、多様な区民が参画できるように支援す る。		
自己評価	戦略のアウトカムに対す る有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須		
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体	今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須		
			A: 順調 B: 順調でない		
戦略の進捗状況	a: 順調 b: 順調でない				

具体的取組 3-1-1 【地域活動協議会に対する支援】

計画	取組内容		業績目標 (中間アウトカム)		
	・地域の様々な分野において、準行政的組織として機能する地域 活動協議会に対して、活動内容を指定せず財政的支援を行う。 ・民主的で開かれた組織運営と会計の透明性を確保しながら、自 律的な地域運営を促進し、地域コミュニティの機能を向上させる。		・地域活動協議会補助金を活用して、区内全11地域で民主制と 会計の透明性を確保した自律的な地域運営が行われている。 【撤退基準】 ・上記目標地域が半数以下の場合は事業を再構築する。		
中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須		
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成		前年度までの実績 ・平成24年度に区内全地域で地域活動協議会が形成。 ・平成25年度より本補助金の交付を開始。		
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)			
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須		
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須		
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成				
戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)				

計画	取組内容		業績目標（中間アウトカム）	
	・中間支援組織を活用しながら、会計に関する支援や意見交換会等を実施し、地域の特性や実情に応じた支援を行う。		・地域実情に応じて中間支援組織の支援を受ける地域：11地域 ・中間支援組織が主催する意見交換会等：6回以上 【撤退基準】 ・上記目標が各50%未満の場合は支援内容を再構築する。	
中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成			
	戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため取組を見直す ー：中間アウトカム未設定(未測定)		
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成			
戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため見直す ー：中間アウトカム未設定(未測定)			

めざす成果及び戦略 3-2 【多様な協働による地域活動の活性化】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定>		戦略<中期的な取組の方向性>	
	・多様な区民・市民によるまちづくり活動が活性化していて、多くの区民がその活動に参加したり、活動を立ち上げ、主体となって取り組んでいる。 アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ・まちづくり活動に参加したことの区民の割合:平成29年度末までに60%以上 ・地域のまちづくりに関する活動が地域団体やNPO、企業など様々な活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合:平成29年度末までに60%以上		・イベントの開催やふれ愛バンジーの活用により、つながりの機会や場の提供を行う。 ・区民の公益活動に係る情報の収集・発信を強化することにより、区民や地域団体をはじめNPO、企業などがこれまでの枠組みを越えたネットワークを形成できるよう支援する。	
自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す		課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体
	A: 順調 B: 順調でない			
	戦略の進捗状況	a: 順調 b: 順調でない		今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須

具体的取組3-2-1 【広域・多様な区民・市民によるネットワークと東成区の地域資源活用】

計画	取組内容		業績目標 (中間アウトカム)	
	・東成区の地域資源を活用して、区民や各種団体等のネットワークづくりを推進し、地域の活性化に繋げる。 「ひがしなり街道玉手箱」企画チーム会議の開催(月3~4回) 「ひがしなり街道玉手箱」参加団体交流会の開催(2回)		・「ひがしなり街道玉手箱」参加団体数:90団体 【撤退基準】 ・上記目標が50団体を下回る場合は事業を再構築する。 前年度までの実績 ・平成26年度実績 「ひがしなり街道玉手箱」参加団体数:84団体	
中間振り返り	業績目標の達成状況	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す ー: 中間アウトカム未設定(未測定)		
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成			
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため見直す ー: 中間アウトカム未設定(未測定)		

具体的取組3-2-2

【市民活動団体等との協働による課題解決】

計画	取組内容	業績目標 (中間アウトカム)
	<ul style="list-style-type: none"> 地域課題に対する提案型事業を公募し、協働して地域課題の解決を図る。 区の設定するテーマに基づく事業を募集 協働型委託契約の締結に向けた意見交換会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 協働型事業委託によって地域課題等の解決の手法が確立した件数:2件 【撤退基準】 上記目標が1件もない場合は事業を再構築する。
中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成	
自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況 ①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)

具体的取組3-2-3

【ふれ愛パンジーまちづくり活動支援事業(東成区市民活動推進助成)】

計画	取組内容	業績目標 (中間アウトカム)
	<ul style="list-style-type: none"> 区のまちづくり活動の活性化を進める拠点であるふれ愛パンジーにおいて、市民活動団体等の事業に対し助成を行う事で、まちづくり活動の活性化に繋げる。 助成事業の募集及び助成金の交付 助成制度の周知 	<ul style="list-style-type: none"> 当助成金を活用する市民活動団体等の事業:2事業 【撤退基準】 上記目標が1事業もない場合は事業を再構築する。
中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成	
自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況 ①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)

計画	取組内容 ・「わが町工場見えてみ隊」の開催(2回) ・次世代担い手育成支援事業(「モノづくりのまち東成」魅力発信事業等) (より効果的な人材育成の機会作りの手法や企画の提案を受けるコンペの開催及び事業の実施)		業績目標(中間アウトカム) ・東成区がモノづくりのまちであるという認識が深まった区民の割合:50%以上 【撤退基準】 ・上記目標が30%以下の場合は事業を再構築する。
			前年度までの実績 ・平成26年度実績 モノづくりフェスタの開催 わが町工場見えてみ隊の開催
中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込)(i)取組は予定どおり進捗(ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込)(i)取組は予定どおり進捗(ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成		
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)	
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(i)取組は予定どおり実施(ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成(i)取組は予定どおり実施(ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成		
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)	

めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年を念頭に設定＞

＜地域福祉の充実＞

・地域における支え合いが充実していると感じる区民の割合を70%以上とする。

＜健康づくりの推進＞

・区民一人ひとりが、自主的に健康づくりや感染症予防に取り組むことにより、健康寿命の延伸をめざす。

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

＜地域福祉の充実＞

- ・おまもりネット登録者数 2,748件(平成26年3月末現在)
- ・地域で福祉に関する活動をしたことがない区民の割合: 65.9%(平成25年度区民モニター)
- ・福祉に関する活動に参加しやすくするために必要なことについての回答(上位3項目)
 - ①活動に関するさまざまな情報提供の充実
 - ②活動につながる相談を気軽にできる窓口
 - ③支援したい人と支援してほしい人とのマッチングのしやすさ
- ・現在の地域や東成区における地域福祉の取組みについての区民の満足度: 31.7%

■東成区の65歳以上の人口割合の推移



※65歳以上高齢者人口: 19,679人
(平成25年10月1日現在推計人口)

＜健康づくりの推進＞

- ・健康寿命(平成22年・男/女) 国(78.2/83.2)、市(76.1/81.9)、区(78.0/83.2)
- ・平均寿命(平成22年・男/女) 国(79.6/86.4)、市(77.4/85.2)、区(78.4/85.4)
- ・区民の死亡要因は生活習慣病が約60%、がんの死亡割合: 32.4%(平成23年人口動態)
- ・特定健診受診率(平成23年度/平成24年度) 市(15.2%/15.8%)、区(15.7%/15.7%)
- ・平成24年度東成区がん検診実績(受診率・市順位)
 - 胃がん(5.5%・7位) 大腸がん(9.7%・9位) 肺がん(4.2%・6位) 子宮がん(20.3%・17位)
 - 乳がん(12.1%・11位)

計
画

要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞

＜地域福祉の充実＞

- ・地域福祉の取組みとして、「おまもりネット事業」登録者数は2,748件で増加傾向にあるが、支援が必要な方と支援できる方、双方への事業周知が十分ではない。
- ・地域の支え合いのための活動に、多くの区民をはじめ民間事業者や専門機関等が参画・連携していく必要がある。
- ・地域福祉に関する活動をしたことがない区民の割合が6割を超えており、地域福祉に関する関心の高まりが十分ではない。

＜健康づくりの推進＞

- ・健康寿命延伸のためには、一次予防として生活習慣病予防、二次予防として疾病の早期発見早期治療が重要な要素である。区民の健康指標は、概ね市平均であるが、がん検診等の受診率は低い。
- ・感染症予防の基本である手洗いは、予防効果が高く重要である。しかし、正しい手洗い方法の実践は困難で、洗い残しが感染症流行の大きな要因の一つである。

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

＜地域福祉の充実＞

- ・地域福祉活動を効果的に推進するために、情報発信を充実させ、より広く対象者に周知し、地域でのつながり拡大が必要である。
- ・区民の多様なニーズに対応する取組みを進め、地域活動の担い手の拡大を図り、活動を効果的かつスムーズに推進していくため、関係者による議論の充実が必要である。
- ・多くの区民の参画による活動の推進には、地域福祉への関心を高めることが重要であり、継続的かつ効果的な啓発が必要である。

＜健康づくりの推進＞

- ・正しい知識等の普及啓発等による健康づくりの気運を高め、がん検診等の受診者増に繋げ、生活習慣病の予防・改善、疾病の早期発見早期治療をめざす必要がある。
- ・感染症予防は、抵抗力が弱く集団発生しやすい年齢層を中心に、予防啓発や災害時の蔓延を見据えた取り組みが必要である。

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

自己
評価

めざす成果及び戦略 4-1 【要支援者セーフティネットの構築】

計画	めざす状態<概ね3~5年間で念頭に設定>		戦略<中期的な取組の方向性>	
	・多様な主体の連携による地域福祉の取組みが、支援の必要な方へ実施され、安心して住みなれた町で暮らすことができる。 アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ・地域福祉の取組みに満足している区民の割合:平成27年度までに60%以上		・地域福祉の取組みの充実を図りながら、有償ボランティア等の新しい手法を取り入れ、要支援者のニーズに対応できる取組みを推進する。 ・福祉の実務者による議論の場において、地域福祉課題の解決に向けた検討を行い、取組みの充実につなげる。 ・認知症による徘徊高齢者の早期発見のため、地域等の協力を得た仕組みづくりに取組んでいく。 ・地域福祉活動の情報が届いていない高齢世帯への情報の周知を図る。	
自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す		課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体
	今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須			
	A:順調 B:順調でない			
戦略の進捗状況		a:順調 b:順調でない		

具体的取組 4-1-1 【地域における支え合いの充実】

計画	取組内容		業績目標 (中間アウトカム)	
	・おまもりネット事業を、すべての65歳以上の高齢者に周知し、登録を促すとともに、有償ボランティア制度の活用を推進する。 周知対象者数:約20,000人 ・有償ボランティア制度の運用を行い、多様なニーズへの対応と担い手の発掘を行う。 有償ボランティアのマッチング件数:250件		・おまもりネット事業への登録者数 5,000人以上 ・有償ボランティアのマッチング件数:250件 【撤退基準】 ・上記目標が3,500人を下回る場合は事業を再構築する。 ・有償ボランティアのマッチング件数が100件を下回る場合は事業を再構築する。	
中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成			
	戦略に対する取組の有効性		○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)	
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成		○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)	

めざす成果及び戦略 4-2 【健康づくりの推進】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定>	戦略<中期的な取組の方向性>		
	<ul style="list-style-type: none"> 区民の健康づくりに対する気運が高まり、健やかな生活習慣の導入やがん検診等の受診率向上により、生活習慣病予防や改善、早期発見・早期治療に繋がっている。 区民が感染症予防に対する正しい予防・対応がとれる。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係団体や地域住民とともに考え、区民や地域が主体となり要望にあった健康づくりの取り組みを協働で開催することにより、参加者増を図り、健康づくりへの意識の向上や態度変容へと繋げる。 住み慣れた地域で健やかに安心して暮らせるよう、医師会等の関係機関と連携を強化し取り組んでいく。 区民や地域が主体となれる気運を醸成する。 		
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標>			
	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくりに関する態度変容者の意向割合:70%以上 がん検診の受診率、大阪市目標値 感染症予防の理解度、予防行動がとれる割合:70%以上 			
自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す		
	アウトカムの達成状況	前年度	個別 全体	
			A:順調 B:順調でない	
	戦略の進捗状況	a:順調 b:順調でない		
		課題 ※有効性が「イ」の場合は必須		
		今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須		

具体的取組4-2-1 【健康づくりへの意識の向上】

計画	取組内容	業績目標(中間アウトカム)		
	<ul style="list-style-type: none"> 住民の健康への関心を高めるために、保健師が地域に出向き関係団体、地域住民と協働で啓発活動を展開する。 健康づくり推進部会(地域生活支援システム)等との協働事業の展開をはかる。 東成区健康づくり事業 (講演・参加体験型機会・地域活動紹介) 地域と協働で開催する健康教室 健康づくり推進部会の開催	<ul style="list-style-type: none"> 血管年齢測定等の体験者のうち、健康に関心を持った行動変容者:80%以上(事業参加者) 【撤退基準】 上記目標が50%未満の場合は、事業を再構築する。		
		前年度までの実績		
		・平成26年度実績(9月末現在) 健康づくり講演会(参加型事業同時開催)275名 地域での健康教室20回 925名、健康づくり推進部会 2回		
中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須		
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成			
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定)		
自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須		
	業績目標の達成状況			
			改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定)		

具体的取組4-2-2

【在宅医療・在宅療養を支援する環境整備】

計画	取組内容	業績目標 (中間アウトカム)
	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・在宅療養に関する、区民や医療・福祉・介護等の関係者、行政の理解を深め、併せて区民の意識を把握する。 区民ニーズや地域の実情に沿った在宅医療・在宅療養の推進を図るため、区民同士の交流や地域での見守り、多職種連携等の地域の拠点づくりを支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・在宅療養に対する理解度:60%以上(講座参加者) 【撤退基準】 上記目標が40%未満の場合は事業を再構築する。
中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成	
自己評価	戦略に対する取組の有効性	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)	

具体的取組4-2-3

【感染症予防対策】

計画	取組内容	業績目標 (中間アウトカム)
	<ul style="list-style-type: none"> 「ひがしなり手洗いきゅつきゅつきゅつの歌」のCD、シール、手洗いチェッカーなどを活用した、正しい手洗い方法の習得・日常行動化を促し、感染症予防に繋げる。 手洗い教室の開催 平成27年度:区内11小学校 平成28年度:高齢者施設 6か所 商店街、薬局、スーパーなどとも協働で啓発活動を展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症予防に関する理解度と正しい手洗いの継続意向を示す割合:70%以上(事業参加者) 【撤退基準】 上記目標が50%未満の場合は事業を再構築する。
中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成	
自己評価	戦略に対する取組の有効性	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)	

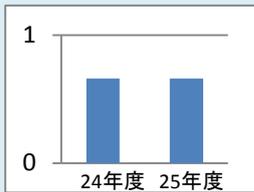
めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年を念頭に設定＞

- ・区民の多様な意見やニーズが的確に区役所に届き区民の区政運営に対する満足度が高い状態
- ・区政に関するわかりやすい情報が多くの区民に届けられている。
- ・職員が東成区に愛着を持って、やりがいを感じ業務に最善を尽くすことで、効率的な業務運営が行われ、区民サービスの向上が図られている。

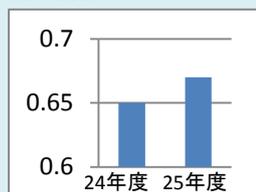
現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

- ・多様な意見やニーズが区役所に届いていると感じている区民の割合：16.9%（平成25年度区民モニター）
- ・区政運営について、多様な区民による評価が区に届いていると感じている区民の割合：11.4%（平成25年度区民モニター）
- ・区政に関する情報が届けられていると感じている区民の割合：33.7%（平成25年度区民モニター）

● 窓口業務についてサービスの向上が図られていると感じている区民の割合



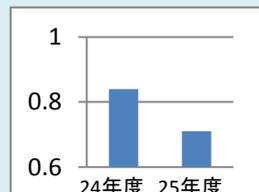
● さまざまな相談や要望について区役所が適切に対応していると感じている区民の割合



● 職員どうしの協力・連携がとれている職場である・どちらかと言えばそうであると感じている職員の割合



● 仕事にやりがいを感じている・ある程度感じている職員の割合



計

要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞

- ・区民の多様な意見やニーズが区役所に届いていると感じている区民の割合が低く、区政への十分な反映ができていない。
- ・区政に関する情報が届けられていると感じている区民の割合も低く、効果的な情報発信に取り組めていない。
- ・来庁する区民の多様な意見を取り入れることにより、区役所のサービスが向上し、相談や要望に適切に対応していると感じている区民は増加しているが、その反面、担い手となる職員のモチベーションが上がっていない。

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

- ・区民の多様な意見を収集する取組の強化が必要であるとともに、区政情報の効果的な発信が求められている。
- ・職員のチャレンジ精神や職員の主体的な活動を職場全体で「褒める・認める・評価する」ことで職員がやりがいを感じて最善を尽くすことのできる職場風土づくりが必要である。
- ・職員と区長の意思疎通が十分はかられることや、区長が職員の気づきを積極的に取り入れ、風通しの良い職場環境をつくる必要がある。

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

自己評価

めざす成果及び戦略 5-1 【透明性と納得性の高い区政運営の推進】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> ・区民の多様な意見等が区役所に届き、その声を反映した区政運営が進められている。	戦略<中期的な取組の方向性> ・区政会議や区長タウンミーティング等を通じて、把握した区民の多様な意見等を区政に反映させる。
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ・区民の多様な意見等が区役所に届いていると感じる区民の割合:平成29年度までに80%以上	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須	
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体		
			今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須	
			A: 順調 B: 順調でない	
	戦略の進捗状況	a: 順調 b: 順調でない		

具体的取組5-1-1 【区政会議運営事業】

計画	取組内容 ・区民の意見やニーズを把握し、区民が区政運営に参画し、評価する仕組みとして、区政会議を開催する。 全体会議2回、部会6回	業績目標 (中間アウトカム) ・区政会議の認知度:60%以上(区民モニター) 【撤退基準】 ・上記目標が20%未満の場合は再構築する。
		前年度までの実績 ・平成25年度 区政会議の認知度46%(区民モニター) 全体会議2回/部会未開催 ・平成26年度 全体会議3回/部会6回

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)

具体的取組5-1-2 【区民の声を把握する取組】

計画	取組内容		業績目標（中間アウトカム）	
	・区民の声を区政に反映するため、区長や職員が地域で開催される会議や事業へ参加し、また場を設け、アンケート調査等の実施を通じて、区民の区政に対する多様な意見や評価を把握する。 ・区民モニターアンケートの実施：3回 ・タウンミーティング等の開催・参加：30回 ・各地域や各種団体等の会議、事業等への参加：132回		・区民モニターや事業参加者の満足度：70% 【撤退基準】 ・上記目標が50%未満の場合は事業を再構築する。	
中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成			
戦略に対する取組の有効性		○：有効 ×：有効でないため取組を見直す ー：中間アウトカム未設定(未測定)		
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成				
戦略に対する取組の有効性				

めざす成果及び戦略 5-2 【情報発信機能の強化】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定>	戦略<中期的な取組の方向性>
	・わかりやすい区政情報を、広く区民全般に積極的に情報発信を行うことにより、区役所から情報が区民にいきわたり、区役所と区民との情報共有が図られ良好な関係ができてきている状態。 アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ・区役所からの情報発信により必要とする市政情報を入手できていると感じている区民の割合:平成27年度までに80%	・区役所からの情報が、区民にいきわたる状況とともに、広報紙を読みやすく、かつ、魅力のある内容とし、より多くの区民の方に手に取っていただける広報紙作りを行う。

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体	
			今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
		A: 順調 B: 順調でない	
戦略の進捗状況	a: 順調 b: 順調でない		

具体的取組5-2-1 【広報事業の充実】

計画	取組内容	業績目標 (中間アウトカム)
	・広報紙について、特集記事や区の事業、区内のイベント等、多岐にわたる記事を盛り込むとともに、世代別に編集するなど読みやすくわかりやすい紙面作りに取り組む。 ・地域情報ページを充実させるため、引き続き区民記者を募集し掲載内容を充実する。 ・区内広報板を活用するなど、複数の媒体による情報発信を展開する。 ・地域情報の掲載:12回、広報板の活用:24回	・広報の満足度:70%以上(区民モニター) 【撤退基準】 ・上記目標が40%未満の場合は再構築する。 前年度までの実績 ・H25年度実績 広報の満足度:59%(区民モニター)、5月から広報板の活用開始。8月より区HPTトップページを改修し、広報紙最終面を全面地域情報ページとした。

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)

めざす成果及び戦略 5-3 【便利で信頼される区役所づくり】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> ・窓口業務など職員が区民と直接対応する業務において、区民がサービスの向上を感じている状態。	戦略<中期的な取組の方向性> ・来庁者の声を取り入れ、ニーズの把握から区民サービスにつなげることや、職員がやりがいを感じて業務に最善を尽くすことができる職員力の向上に取り組む。		
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ・窓口業務などについてサービスの向上が図られていると感じている区民の割合:27年度までに80%以上			
自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す		課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体
	A: 順調 B: 順調でない			今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
	戦略の進捗状況	a: 順調 b: 順調でない		

具体的取組5-3-1 【区民サービスの向上】

計画	取組内容 ・来庁者に対して「来庁者満足調査」を区役所全課で行い、積極的に区民の声を取り入れる。 アンケート用紙設置場所:6か所	業績目標 (中間アウトカム) ・区役所の区民サービスが向上したと感じている区民の割合:80%以上 【撤退基準】 ・上記目標が70%未満の場合は、事業を再構築する。		
		前年度までの実績 ・平成26年度 アンケート用紙を設置		
中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須		
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成			
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)		
自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須		
	業績目標の達成状況			
		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須		
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)		

具体的取組5-3-2 【職員力向上】

計画	取組内容	業績目標 (中間アウトカム)
	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の気づきを積極的に取り入れ、職員がやりがいを感じて自ら積極的に業務に取り組めるよう機運の醸成を図る。 ・担当部署を越えて、職員同士が協力・連携する対応を強化する。 職員と区長ミーティングの開催: 2回開催 区民サービス向上プロジェクトチーム会議: 10回	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事にやりがいを感じている職員の割合70%以上 【撤退基準】 <ul style="list-style-type: none"> ・上記目標が60%未満の場合は再構築する。 前年度までの実績 <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度取り組み 職員と区長の意見交換会 区民サービス向上プロジェクトチームの発足
中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)
自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)

「平成27年度 市政改革の基本方針(素案)」に基づく取組等

取組項目1 【未収金対策強化】(改革1-(2)-イ)

計画	取組の方針・目標内容	当年度の取組内容
	(取組の趣旨・目的) ・国民健康保険料未収金の圧縮の取組み強化 (目標) ・保険料の収入目標については、引き続き、前年度以上の収納率の実績確保をめざす。	・国民健康保険料収入の確保に向けて、未収金の発生を抑えるとともに、早期の納付相談・納付指導を強め、未収金の回収・発生縮減に努める。 ・特別の事情もなく納付に応じない世帯については、負担の公平性の観点から、財産調査等による納付資力の調査を行い、滞納処分による強制徴収を実施する。

中間振り返り	取組内容の実施見込み	(i)実施見込み (ii)実施できない見込み	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	目標の達成見込み	①:達成見込み ②:達成できない見込み	

自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況	課題と改善策 ※左記が「③」の場合は必須
	①:目標達成 ②:概ね目標達成 ③:目標未達成	

取組項目2 【附設会館(区民センター)におけるのサービス向上】(改革2-(1)-ア)

計画	取組の方針・目標内容	当年度の取組内容
	(取組の趣旨・目的) ・コミュニティ活動の振興並びに地域における文化の向上、福祉の増進 ・各種行事の場の提供により、市民相互の交流を促進し、連帯感あふれるまちづくりへの寄与 (取組の概要) ・アンケートの実施 ・年代別・性別などを分類したニーズ調査 (目標) ・更なる地域ニーズの汲み上げによる、満足度と利用率の向上	・アンケート調査とともに、年代別・性別などを分類化した「見える化」を視野に入れたニーズ調査の実施 ・指定管理者予定者選考委員会の結果をうけた、新指定管理者に対する指導・助言 (目標) ・アンケート調査における利用者満足度の向上 ・ニーズ調査などを踏まえた、効果的・効率的な運営による利用率の向上による増収

中間振り返り	取組内容の実施見込み	(i)実施見込み (ii)実施できない見込み	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	目標の達成見込み	①:達成見込み ②:達成できない見込み	

自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況	課題と改善策 ※左記が「③」の場合は必須
	①:目標達成 ②:概ね目標達成 ③:目標未達成	

取組項目3

【ホームページバナー、広報紙、施設等への広告掲載】(改革3-(1)-ア-(ア))

計画	取組の方針・目標内容	当年度の取組内容
	平成27年度までに、平成22年度比較で10%の収入増をめざす。	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度からの新たな取り組みとして、広報紙、ホームページバナー、庁舎内パンフレットラック、広報板の広告媒体について、広告代理店を通じた年間契約を締結する。 ・広告付き周辺案内地図、広告入りTVモニター・壁面パネルの広告媒体については、引き続き広告契約を継続する。

中間振り返り	取組内容の実施見込み	(i)実施見込み (ii)実施できない見込み	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	目標の達成見込み	①:達成見込み ②:達成できない見込み	

自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況		課題と改善策 ※左記が「③」の場合は必須
①:目標達成 ②:概ね目標達成 ③:目標未達成			

外部評価意見への対応方針

番号	外部評価意見	対応方針	分類
	平成25年度運営方針具体的取組2-1-2「子ども防犯対策事業」について、「犯罪に対する対応方法を知っているこどもの割合」目標80%以上で98%達成としているが、区内11校中8校しか子ども防犯教室を開催しておらず98%とは言い難い。評価基準を明確にしないと改善できないとのご意見をいただいた。	平成26年度取組から、より明確なものとなるよう評価基準やアンケートの実施方法などを改善いたします。	①
	平成25年度運営方針具体的取組3-1-3「区民と区長のタウンミーティング」について、平成26年度より地域の会場やイベント等を訪問するとの事だが、イベント会場等は人が多く声を聞きにくく、ミーティング形式で区民の生の声を聞けるよう、積極的に場を設けてほしいとのご意見をいただいた。	これまで区役所でタウンミーティングを開催してきたが、平成26年度から地域のふれあい喫茶や子育て支援活動、地域の会合などの場に区長が直接出向いていき、区民の生の声を聞かせていただきたい。	①
	平成25年度運営方針具体的取組3-1-4「区民サービスの向上と効率的な業務運営」について、職員の電話の対応等にも取り組んでほしいとのご意見をいただいた。	市民サービスは窓口サービスだけではなく、区長と職員の見聞交流会や各種研修等を通じて、より職員力向上に取り組んでまいります。	①
	東成区の広報紙の配布方法について、全ての世帯に行き届くような方法がとれないものか。町会に依頼してはどうか。とのご意見をいただいた。	広報紙が全世帯に配布されることは一番望ましい。全ての区民の皆さんに行き渡る方法を引き続き検討していきたい。	③
	運営方針の様式や内容について、資料の言葉が、外国語、片仮名が氾濫しており意味不明なものがたくさんある。公的機関に「経営」「戦略」といった言葉がふさわしいのか。とのご意見をいただいた。	今年度より運営方針等の資料に対し、語句の解説等をつけることとします。また、「経営」「戦略」等の語句については、大阪市全体の統一様式でもあるので、区独自資料では工夫させていただきたい。	①
	平成25年度運営方針具体的取組2-3-4「保育所待機児童の解消」について、保育ママ事業は、保育所併設のほうが安心感がある。より希望者を幅広く受け入れられるよう、個人型保育ママ事業等にも取り組んでほしい。また、保育所の待機児童ゼロだが、兄弟で違う保育所に入所している実態もある。若い子育て世帯の支援、保育所や幼稚園、行政の役割である、とのご意見をいただいた。	希望される方の受け入れを進めるため、より身近なところで入所枠を増やしていただけるよう保育所に準じた形の小規模保育施設の開設など、多様な保育サービスの充実に取り組んでまいります。	①
	今年度から開始された中学校の学校給食、異物混入等、不安がある。教育委員会等との連携を強化して対策をお願いしたい、とのご意見をいただいた。	区長会などでの議論を行っており、業者への立ち入り検査等、原因究明を進めています。	①
	今年度の「おまもりネット事業」を活用した高齢者・障がい者等支援セーフティネット構築事業の取組について、有償ボランティアの仕組みづくりに関し、ボランティアを供給する側に要求に対応できる人材を確保できるかすごく問題。もう少し仕組みに具体性なければ、講座だけ受けても意味がないのでは、とのご意見をいただいた。	会員確保の問題や周知方法、具体的な仕組みの構築は、現在検討中です。フォーラムの開催や区民モニターによる区民の皆さんのご意見も踏まえ、今年度中に制度構築してまいります。	①
	平成25年度運営方針具体的取組2-2-6「区民の健康づくり対策事業」について、健康寿命の延伸のため、各種健診(検診)の受診者増等に取り組んでいくとしているが、健診の受診率の面だけではなく、食育の充実にも取り組んでほしい、とのご意見をいただいた。	区民の皆様の健康づくりの一環で、生活習慣を見直そうとする場合、食生活の改善も重要な要素です。生活習慣や食生活の改善にも取り組んでまいります。	②

※分類

- ①当年度において対応 ②来年度運営方針に反映または来年度に対応予定
 ③来年度では対応できないが、今後引き続き検討 ④対応困難または対応不可
 ⑤その他

